

5月1日 ヨハネによる福音書 10章7～18節 今日の説教から

説教題：「良い羊飼いは羊のために命を捨てる」

今日の個所ではまず、イエス様は自分のことを羊の門としてたとえています。「私よりも先に来た者」とは、イエス様以外のキリストを自称した人々や偽預言者であり、彼らは自分の言葉を信じさせるために神様を権威として利用します。神様を信じる信仰者を、自分の言葉を信じる信仰者へと変えてしまおうとする彼らは、イエス様からすればまさしく「盗人」「強盗」に間違いありません。そんな人々から私たちを守ってくれるのがイエス様であり、そしてイエス様の御言葉を通して私たちは日々の生活へと出ていくことになります。

そのように、私たちキリスト者は羊としてたとえられていて、イエス様は今日の個所で「私は良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる」と語っています。このイエス様の言葉は、私たちキリスト者にとって、何度も聞いたことがある身近な言葉ではないでしょうか。イエス様が私たち「羊」を導く「羊飼い」であるという事、そして「私たちのためにその命を使いつくしてくれた」という事は、イエス様の十字架と、それによる罪の贖いをよく知る私たちにとって、とても心に響く言葉だと思います。「イエス様は、私たちのような迷える子羊を信仰へと連れ戻してくれる方なんだ」「私たちのことを何よりも思ってくれて、だからこそ恐ろしい十字架に対しても臆することなく進むことが出来たんだ」「やはりイエス様は私たちを導く救い主なんだ」、そのように、私たちは今日の個所の御言葉によって勇気付けられて、日々を歩むことができます。

イエス様は、自分の命と私たちの命を、または自分の命と神様の御心を天秤に乗せて、逃げて生き延びるのではなく、「世の人々を救う」という神様の御心を優先するべきだと理解しました。この世のどんな羊飼いよりも神様の御心を優先したイエス様ですから、ここでイエス様が語る「良い羊飼い」とは、イエス様以外には存在しないのです。「世界で唯一の良い羊飼い」であるイエス様、そのイエス様以外には私たちを導くことが出来る方はいないのです。私たちのために、自分の為ではなく私たちのためにいのちを捨ててくれる人は、イエス様を置いて他にはいないのです。誰にとっても、何よりも大切である「自分の命」を優先するのではなく、イエス様は私たちの救いと、神様の御心を何よりも優先しました。「世界で唯一の良い羊飼い」として神様から与えられたイエス様だからこそ、私たちも安心してイエス様の言葉に従うことが出来るのです。

そして私たちは、イエス様の復活によって一つの教会として結ばれることとなりました。イエス様を一番上の兄として親しみをもって敬い、私たちは互いを「兄弟姉妹」と呼び合います。洗礼によって結ばれたこの絆は、他の何物でもなく「父なる神様」に従う自由が私たちに与えられていることを教えてくれています。だからこそ、私たちは日曜日のたびに教会に集まり、神様を礼拝し、また日々の業へと送り出されます。神様に強められていることを信じているからこそ、私たちはまた次の一週間に向けて歩みだすことが出来るのです。

私たちのために全力でその命を燃やしたイエス様への感謝を胸に、今週一週間の、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：ヨハネによる福音書 10 章 7～18 節

- 7:イエスはまた言われた。「はっきり言うておく。わたしは羊の門である。わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。
- 11:わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。——狼は羊を奪い、また追い散らす。——彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。わたしは良い羊飼いです。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。わたしは命を、再び受けるために、捨てる。それゆえ、父はわたしを愛してくださる。だれもわたしから命を奪い取ることはできない。わたしは自分でそれを捨てる。わたしは命を捨てることもでき、それを再び受けることもできる。これは、わたしが父から受けた掟である。」